

教育における ICT と AI 活用の事例調査

～海外の先進事例を対象に～

1250490 西森基

指導教員 中村直人

研究背景

GIGA スクール構想により一人一台端末とネットワークの整備が進んだものの日常的な活用には至っていない。令和の日本型学校教育で求められる個別最適な学びを実現するには、ICT や AI の有効的な活用が必要である。

研究目的

本研究は、海外における ICT や AI の活用事例を調査・分析し、日本の教育現場へどのように適応するかを考察することが目的である。

研究方法

海外の ICT や AI を活用した学びを調査し、個別最適な学びや Education4.0 で求められている学習形態と比較して分析を行った。

分析結果

海外の事例から、「学習の個別化」「Problem based and collaborative learning」が重要であることが判明した。また、海外では ICT や AI は日常的に活用されており、日本の教育における ICT 活用が遅れていることが分かった。

考察・結論

個別最適な学びの実現には、ICT を活用し、生徒自ら学習方法や学習場所などを選択できる環境を整備することが重要である。また、実践的な学びを導入することで専門性の向上にもつながる。日本で、個別最適な学びを実現するためには、端末の家庭利用の促進と教員研修の充実が不可欠である。